

2014年度アジア政経学会東日本大会のご案内（事前登録必須！）

アジア政経学会会員各位

2014年度東日本大会を10月18日(土)に防衛大学校にて開催いたします。

今回の大会では、午後の部の共通論題として、「東アジアの平和構築—日本と中国の安全保障」を企画しました。国内有数の研究者と実務家をお招きし、軍事・外交両面で近年緊張の高まる日中関係の現状と課題を掘り下げる場となることを願っております。また、午前の部では自由論題4つ(「国際関係—日本とアジア」、「東アジアの政治」、「アジアの経済」、「東南アジアの経済と社会」)と分科会1つ(「中ソ関係史の再検討」)が用意されております。午後の部には共通論題のほか、分科会2つ(「日中合併企業のペーマネジメント」、「アジアの資源開発におけるガバナンスのあり方」)が企画されております。

大会の企画・準備を進めるに当たり、学会理事長をはじめ、研究企画委員の理事の皆様から多大なご支援をいただきました。これらのご支援に対し厚く御礼を申し上げます。今回初めてアジア政経学会の大会主催校をお引き受けすることとなり、何かとご不便をおかけするかもしれませんが、何卒ご寛容のほどお願い申し上げます。

当日は、大会受付とは別に正門で入構手続きがありますので、身分証を御持参の上、下記のご案内に従って必ず事前に参加申し込みを行って下さい。当日は防衛大学校の歴史、教育・訓練、学生舎生活等を紹介する資料館を開放する予定です。併せて、昼休みを利用してキャンパスツアーも企画しています。何かご不明な点があれば、ご遠慮なく実行委員会までご連絡ください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

<アジア政経学会東日本大会企画委員会>

研究企画担当理事： 高橋伸夫(慶應義塾大学)、三重野文晴(京都大学)

実行委員会(防衛大学校)： 國分良成(学校長)、武田康裕(主務)、村井友秀、倉田秀也、佐々木智弘

<実行委員会連絡先>

大会に関する問い合わせ先(可能な限りe-mailでお願い致します)

〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20 防衛大学校 武田康裕研究室

TEL: 046-841-3810 内線2140、FAX: 046-844-5921

大会専用アドレス: jaas-east@[npo-ochanomizu.org]([@]を@に置き換えてください)

武田研究室: takeda@[nda.ac.jp]([@]を@に置き換えてください)

実行委員会からのお知らせ

1. 参加を希望する会員の方々へ

正門で入構手続きがあります。「参加連絡票」に必要事項を記載の上、**9月30日(火)**までに大会専用メールアドレス: jaas-east@[npo-ochanomizu.org]([@]を@に置き換えてください)へ事前の参加

申し込みをしてください。当日、入構証を交付しますので、身分証を持参願います。尚、事前の申し込みがなかった場合には参加できませんのでくれぐれもご注意願います。

2. 会場へのアクセス

最寄駅(京浜急行、馬堀海岸駅)から会場へのアクセスは、バスかタクシーとなります。バスは京急バス「馬堀海岸駅」から「防衛大学校」まで料金180円で所要時間約5~10分となります。タクシーは、京急バス「馬堀海岸駅」前方30メートル付近の乗り場から約5分です。タクシーの待合台数に限りがありますので、乗り合わせてご利用願います。

3. 昼食と休憩所について

大会当日の昼食は、構内「学生会館」2階にある食堂(花の舞)とコンビニが利用可能です。防衛大周辺には食事処は皆無で、食堂の収容人員にも限りがあります。お弁当を予約される方は、上記の参加連絡票でお申し込みください。

4. 要旨集とフルペーパー

報告者のレジユメをまとめた要旨集を当日受付(人文科学館1階)で配布します。また、自由論題のフルペーパーは学会のHP上で閲覧可能です。閲覧の際に必要なIDとパスワードは、会員限定でお伝えします。

5. キャンパスツアーの申し込み

昼休み時間を利用して校内見学を実施します。参加をご希望される方は、上記参加連絡票に必要事項を明記の上、事前にお申し込みください。

6. 託児室の設置

小さいお子様を連れて参加される会員のために、会場内に託児サービスを用意します。ご希望の方は、「託児室利用申込書」を9月26日(金)までに大会実行委員会へ直接ご提出願います。

7. パソコン(PC)・可搬記憶媒体(USB)の利用制限について

規則により、私物のPC及びUSBのネットワーク接続が禁止されております。特にパワーポイント等をご利用になる報告者は、データを大会前日正午までに大会実行委員会へ送付してください。当日、USBから会場PCへのデータ入力はできませんのでご注意願います。

8. 報告者へのお願い

当日会場で資料等を配布される場合は、必要部数(最大で50部程度)をコピーの上でご持参願います。尚、当日はコピー機等の利用ができませんので予めご承知おきください。

9. 懇親会 17:30-19:00 (本館食堂)

当日17時30分から19時まで、懇親会を予定しております。

10. 資料館

防衛大学校の歴史、教育・訓練、学生舎生活等を紹介する資料館を、10時から17時まで開放しますので是非お立ち寄りください。事前の予約は不要です。

2014年度アジア政経学会東日本大会プログラム

開催日：2014年10月18日(土)

会場：防衛大学校

主 催：一般財団法人アジア政経学会

共 催：防衛大学校

プログラム

***以下のプログラムは9月17日時点における暫定版です。司会者、報告者、討論者には変更が生じる場合があります。**

09:30 受付開始（正門および人文館1階ロビー）

*正門受付で入構証を受け取った後、人文館1階ロビー受付であらためて名札・レジメ集の受領および懇親会費、弁当代等の清算を行ってください。

09:30-17:00 託児室（人文館1階、J101号室）

10:30-12:30 自由論題および分科会（人文館1階・3階）

12:30-14:00 理事会（人文館1階J103号室）

12:30-14:00 キャンパスツアー（受付：人文館1階ロビー）

14:00-17:00 共通論題（AVホール）および分科会（人文館1階・3階）

17:30-19:00 懇親会（本館食堂）

【午前：自由論題・分科会】

自由論題1 国際関係——アジアと日本 10:00-12:30

司会：山本信人（慶應義塾大学）

報告1：島林孝樹（早稲田大学大学院）

「ポスト冷戦期における日本による対インドシナ地域政策の展開」

報告2：菊池誉名（日本国際フォーラム）

「東アジアの地域統合におけるトラック2外交の役割—東アジア研究所連合（The Network of East Asian Think tanks：NEAT）の事例を中心に—」

報告3：許 珩（東京大学大学院）

「日華断交の再考——第二次円借款の交渉を中心に」

報告4：黄宰源（早稲田大学）

「風刺漫画から見る日韓会談」

討論：永井史男（大阪市立大学）、神田豊隆（新潟大学）、小針進（静岡県立大学）

自由論題2 東アジアの政治 10:00-12:30

司会兼討論：小嶋華津子（慶應義塾大学）

報告1：鄭黄燕（東京大学大学院）

「なぜ中国都市部の土地は国家所有と規定されたか——1982年憲法改正をめぐる政策過程の分析」

報告2：岡本至（文京学院大学）

「台湾の立憲政治と二重の外圧：国際的相互依存下にある人民の自由のために」

報告3：辻井清吾（駒澤大学）

「ネパール制憲選挙の結果と今後の諸動向について」

討論：小笠原欣幸（東京外国語大学）、中溝和弥（京都大学）

自由論題3 アジアの経済 10:00-12:30

司会兼討論：渡邊真理子（学習院大学）

報告1：松本理可子（早稲田大学大学院）

「文化産業としての老舗飲食企業—全聚徳と前門地区を中心に」

報告2：苅込俊二（早稲田大学大学院）

「中所得国の特徴——輸出構造からの考察」

討論：巖善平（同志社大学）

自由論題4 東南アジアの経済と社会： 10:00-12:30

司会兼討論：田村慶子（北九州市立大学）

報告1：張永祺（東京大学大学院）、オサティス チャダタン（埼玉大学大学院）

「タイにおける外国コンテンツ製品の利用実態と東アジア諸国のイメージ」

報告2：太田麻希子（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター）

「マニラにおけるスラムの世帯類型と再生産分業——00年代後半の世帯調査を事例に」

報告3：平野恵子（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター）

「移住産業と「家事労働者」の身体形成——ジャカルターアブダビにおける派遣前研修を事例として」

討論：遠藤環（埼玉大学）、清水一史（九州大学）

自由応募分科会1 中ソ関係史の再検討——1944-55 10:00-12:30

司会：平川幸子（早稲田大学）

報告1：麻田雅文（東北大学）

「中国長春鉄道の返還をめぐる中ソ関係、1949-1953年」

報告2：鄭成（早稲田大学）

「1950年代初期の中ソ間の文化交流—上海での「中ソ友好月」キャンペーンを一例に」

報告3：松村史紀（宇都宮大学）

「未熟な中ソ分業体制（1949-54）——世界労連アジア連絡局を手がかりに——」

討論：石井明（東京大学名誉教授）

【午後： 共通論題・分科会】14:00-17:00

共通論題 東アジアの平和構築——日本と中国の安全保障

司会兼討論：村井友秀（防衛大学校）

論点提示：五百旗頭真（熊本県立大学理事長、日本防衛学会会長）

報告1：阿部純一（霞山会理事、研究主幹）

「中国がカギを握る東アジアの平和構築」

報告2：柿原国治（空将補、空自幹部学校副校長）

「安定の鍵としての対中カウンター・バランス—柔軟反応・同盟抑止の実効性向上に向けての一考察—」

報告3：齊藤康平（内閣府情報公開・個人情報保護審査会事務局審査官）

「中国の海洋進出と我が国の対応について」

報告4：毛利亜樹（筑波大学）

「習近平中国で語られる近代戦争の『教訓』——日清戦争、第一次世界大戦、抗日戦争——」

総括：國分良成（防衛大学校長）

自由応募分科会2 日中合併企業のペーマネジメント——海信日立の事例を中心に

司会：杉本孝（京都大学経営管理大学院）

報告1：時 晨生（元法政大学大学院）

「中国における日系企業海信日立の競争優位」

報告2：範 大鵬（元海信日立空調システム株式会社副社長）

「多国籍企業の競争優位移転論に関する検討」

報告3：郝燕書（明治大学）

「事例分析から多国籍企業の競争優位論の再構築に向けて」

自由応募分科会3 アジアの資源開発におけるガバナンスのあり方—市場経済移行国における現状と今後の課題—

司会：遠藤聡（共立女子大学）

報告1：中野亜里（大東文化大学）

「ベトナムの鉱物資源開発の事例 — ボーキサイト採掘現場の最新事情 —」

報告2：村尾 智（産業技術総合研究所）

「資源開発におけるガバナンスの理想と実際— 発展途上国における乱掘（スモールスケールマイニング）をめぐる—」

報告3：小野恭子（産業技術総合研究所）

「「リスク評価研究はリスクガバナンスにどのように活かされるか— 中国における鉛のリスク評価を事例として—」

討論：江原由樹（国際協力機構）

岸本充生（東京大学）

懇親会 17:30–19:00（本館食堂）

Call for Papers for the 2014 Autumn Conventions of the Japan Association for Asian Studies

The 2014 Autumn Conventions of the Japan Association for Asian Studies will be held at National Defense Academy on October 18, 2014 and at Kyoto University on November 29, 2014. The Conference Organizing Committee (COC) of JAAS welcomes the proposals for individual presentations and organized panels from JAAS members.

Individual presentation: The speaker will submit a paper and is offered a chance to present it within around thirty minutes. The COC will organize sessions by selecting two or three presentations with similar or related topics and nominating the chairperson and commentators from JAAS members.

Organized panels: A panel usually consists of a chairperson, two or three presenters, one or two commentators. Two hours will be allotted to the whole panel. Due to time constraint, the total number of presenters and commentators must not exceed 4.

The deadlines for submitting a proposal for individual presentations and panels are as follows:

Convention at National Defense Academy: August 9

Convention at Kyoto University: August 16

Applicants for the Individual Presentations should be a member of, or applying for membership to JAAS until the date of presentation. Applicants for the Organized Panels should be a member of JAAS at the time of application.

Please note this membership condition and proceed to the following step. Those who wish to submit a proposal must download the submission form from JAAS website, and fill and send it to the conference organizing committee by e-mail.

The following items must be written in the submission form:

- Individual presentations:
 1. Name, affiliation, contact address, and membership status of the applicant.
 2. Title of the presentation.
 3. Abstract (within 200 words).

Submission form for individual presentation

Presenters at National Defense Academy must submit a full paper (in Word format) with around ten A4 pages, including references, tables, and figures before September 13, 2014. And presenters at Kyoto University must submit a full paper in the same manner before October 18, 2014. The submitted papers will be converted in PDF format and posted on JAAS website for several weeks before and after the Conference, and will be made downloadable only by JAAS members.

- Organized panels:
 1. Name, affiliation, contact address, and membership status of the applicant.
 2. Title of the panel.
 3. Abstract (within 200 words).
 4. Contents of the panel. (Name, affiliation, membership status of the chairperson, presenters, and commentators.)

Submission form for organized panels

Presenters of the panels are recommended, though not required, to submit a full paper, which will be

posted on JAAS website in the same manner with papers for individual presentations. The volume and the time of submission for the papers are the same with the case of individual presentations.

Conference Organizing Committee of JAAS

TAKAHASHI Nobuo

Institute of East Asian Studies, Keio University 2-15-45 Mita, Minato-ku, 108-8345, Tokyo, Japan

2013年度アジア政経学会東日本大会（10月12日）のご案内

アジア政経学会会員各位

2013年度東日本大会を10月12日（土）に早稲田大学（早稲田キャンパス）にて開催いたします。

今回の大会では学会創設60周年記念行事の一つとして、午後の部では共通論題「中国の外交と近隣諸国」を企画しました。躍進を続ける中国は、日本のみならず世界各国にとってもっとも関心と呼ぶテーマです。今回は「中国と日本」、「中国と韓国・北朝鮮」、「中国とASEAN」、「中国と米国」の4カ国・地域との関係を各地域専門家からの現状の分析と今後の展開を明らかにしてもらいます。なお、午前の部では自由論題3つと分科会1つが用意されています。午後の部には共通論題のほか、自由論題1つが企画されております。

大会の企画・準備につきましては、学会理事長をはじめ、研究企画委員の理事の皆様から多大なご支援をいただきながら準備を進めて参りました。ご支援に対してお礼を申し上げますとともに、実行委員会として精一杯努力をする所存です。至らない点は何卒ご寛容のほど申し上げます。

当日の会場は、自由論題と分科会は早稲田キャンパス11号館、午後の共通論題は27号館小野梓講堂を予定しております。ただ、授業の関係で変わる可能性もございますので、変更の場合は、改めてご案内致します。

何かご不明な点があれば、ご遠慮なく実行委員会までご連絡ください。

どうぞ奮ってご参加くださいますようお願い致します。早稲田大学でお待ちしております。

研究企画委員会・全国大会実行委員一同

■早稲田大学アジア政経学会東日本大会実行委員会

山田満（委員長）、トラン・ヴァン・トゥ、平川幸子、鄭成、本多美樹、島崎裕子

所在地：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 山田満研究室

■大会に関する問い合わせ先

*お問い合わせはできるかぎりE-mailでお願い致します。

大会実行委員会

所在地：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 山田満研究室

実行委員会からのお知らせ

1. 昼食と休憩所について

大会当日の昼食は、キャンパス内の「学生食堂」（大隈ガーデンハウス）、職員レストラン「楠亭」（大隈会館）、「西北の風」（大隈タワー）が利用可能です。それ以外に早稲田通りを含め多数の食堂、レストラン、ラーメン店など飲食店が多数あります。また、自由論題会場近くに休憩スペースを用意致しますが、11号館1階にはコンビニストアがあり、テーブルと椅子がございますので、そちらをご利用くださってもけっこうです。

2. 要旨集とフルペーパー

報告者のレジюме（各1ページ）をまとめた大会要旨集を当日受付で配布します。また、自由論題のフルペーパーや共通論題の要旨は学会のHP上で閲覧できるように掲載します。フルペーパー閲覧の際に必要なIDとパスワードは会員限定でお伝えしています。

3. 参加を希望する会員の方々へ

会場セッティング等の参考にしますので、会員の方は別途お送りしている出欠アンケートにご回答の上、ご返送ください。

4. 参加を希望する会員以外の方々へ

参加をご希望の方は、「お名前」「ご所属」「ご連絡先E-mail」「参加希望のセッション名」を明記の上、大会専用メールアドレス：にお申込みください。

5. 託児室の設置

小さいお子さまを連れて参加される会員のために、学内に託児サービスを用意します。ご希望の方は、「託児室設置のお知らせ」をご覧ください。「託児室利用申込書」に記入のうえ9月26日(木)までにお申し込みください。

2013年度アジア政経学会東日本大会プログラム

開催日：2013年10月12日（土）

会 場：

・早稲田大学 所在地：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

・アクセス

JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」下車、徒歩20分

東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩5分

都電荒川線「早稲田駅」徒歩5分

都バス「高田馬場駅—早大正門」10分

主 催：アジア政経学会

共 催：早稲田大学アジア研究機構（OAS）

プログラム

9:30 受付開始（11号館1階ロビー）

10:00～12:30 自由論題セッション・分科会（11号館8階・9階）

12:30～14:00 理事会（14号館8階801会議室）

14:00～17:30 共通論題（27号館小野梓講堂）・自由論題（11号館8階）

18:30～20:00 懇親会（大隈ガーデンハウス）

会費：一般会員4000円、学生会員3000円

【自由論題セッション】午前（セッションによって時間が異なります）

自由論題1 東南アジア 10:50-12:30

司会兼討論：山本信人（慶應義塾大学）

報告1：外山文子（京都大学東南アジア研究所）

「1990年代以降のタイ選挙制度改革——政党法および選挙法の変化に焦点をあてて」

報告2：池田真也（東北大学大学院生）

「インドネシア公設青果物市場における取引慣行の多様化と効率性」

討論：重富真一（アジア経済研究所）

自由論題2 アジアの国際関係 10:00-11:40

司会兼討論 安倍誠（アジア経済研究所）

報告1：朴口サ（国士舘大学大学院生）

「北東アジアのエネルギー資源の安全確保とロシアの資源ナショナリズム」

報告2：高賢来（東京大学大学院生）

「李承晩・張勉政権期韓国の対東アジア経済外交——フィリピン、中華民国との貿易協定締結過程を中心に」

討論：郭四志（帝京大学）

自由論題3 中国の政治・社会 10:00-12:30

司会兼討論：唐亮（早稲田大学）

報告1：森一道（New Asian Invesco (HK) Ltd.）

「汪洋の幸福論——改革開放政策の新たな視野」

報告2：鄭浩瀾（フェリス女学院大学）

「戦争、国家と子供——抗日戦争期の中国における『民族的保育』の展開」

報告3：李昊（東京大学大学院生）

「華国鋒と改革の起動」

討論：新保敦子（早稲田大学）

分科会 近代中国の武装化した社会と革命政党 - 革命に与した武装勢力の実態を探る10:00-12:30

司会 岩谷将（防衛省防衛研究所）

報告1：山本真（筑波大学）

「民国時期、福建省における武装化した社会と国民政府による国民統合・戦時動員の挫折」

報告2：阿南友亮（東北大学）

「敵軍に加担した傭兵をいかにして引き抜くか？——民国期中国の武装化した社会と中国共産党による軍隊建設に関する一考察」

討論：丸田孝志（広島大学）

討論：荒武達朗（徳島大学）

【共通論題セッション・自由論題】

共通論題 中国の外交と近隣諸国 14:00-17:30

司会 毛里和子（早稲田大学）

報告1 天兒慧（早稲田大学）日中関係

報告2 小此木政夫（九州大学）韓国／北朝鮮中国関係

報告3 黒柳米司（大東文化大学）ASEAN中国関係

報告4 伊藤剛（明治大学）米中関係

討論：藤原帰一（東京大学）

討論：堀本武功（京都大学）

自由論題4 中国・台湾の産業 14:00-17:20

司会兼討論：渡邊真理子（学習院大学）

報告1：李春霞（専修大学大学院生）

「『自主创新』と中国の太陽光発電産業——戦略的新興産業と発展方式の転換」

報告2：日置史郎（東北大学）

「中国における産業集積と集積の経済」

報告3：朝元照雄（九州産業大学）

「"山寨の父と呼ばれる台湾のファブレス企業——聯発科技の破壊的イノベーション」

報告4：徐輝（筑波大学大学院生）

「日中間のソフトウェア・オフショア開発をめぐる産業発展要素の変化——大連の事例を通して-」

討論：佐藤幸人（アジア経済研究所）

討論：丸川知雄（東京大学）

East Japan Meeting of the Japan Association for Asian Studies (JAAS)

Date: October 12, 2013

Venue: Waseda Campus, Waseda University

Access: 5 minutes walk from Waseda Station, Tokyo Metro Subway, Tozai line

20 minutes walk from Takatanobaba Station, JR Yamanote line

See for details.

All presentations will be presented in Japanese.

Morning Sessions

Session 1 South East Asia 10:50-12:30

Chair and Discussant: Nobuto YAMAMOTO (Keio University)

Speaker 1: Ayako TOYAMA (Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University)

"Electoral Reform in Thailand since the 1990s: Focusing on the Changes of Political Party Act and Election Act"

Speaker 2: Shinya IKEDA (Tohoku University)

"Divergence and Efficiency of Transaction Customs in Public Fresh Produce Markets in Indonesia"

Discussant: Shinichi SHIGETOMI (Institute of Developing Economies)

Session 2 Asian International Relations 10:00-11:40

Chair and Discussant: TBA

Speaker 1: Lusha PIAO (Graduate School of Globalizing Asia, Kokushikan University)

"Energy Security in Northeast Asia and Russia's Energy Nationalism"

Speaker 2: Kenrai KOU (Graduate School of Arts and Sciences, University of Tokyo)

"The ROK's Economic Diplomacy towards East Asia during the Syngman Rhee and Chang Myong Administrations: A Study on the Negotiation Processes for Trade Agreements with the Philippines and the ROC"

Discussant: Sizhi GUO (Teikyo University)

Session 3 Chinese Politics and Society 10:00-12:30

Chair and Discussant: Liang TANG (Waseda University)

Speaker 1: Kazumichi MORI (New Asian Invesco (HK) Ltd.)

"Wang Yang's Happiness Theory -A New Perspective of China's Open-door Policy"

Speaker 2: Haolan ZHENG (Ferris University)

"War, State, and Children: 'National Childcare' in China during the Anti-Japanese War Period"

Speaker 3: Hao LI (University of Tokyo)

"Hua Guofeng and the Start of Reform"

Discussant: Atsuko SHIMBO (Waseda University)

Panel The Militarized Society of Modern China and its Effect on the Chinese Revolution 10:00-12:30

Chair: Nobu IWATANI (National Institute of Defense Studies)

Speaker 1: Shin YAMAMOTO (University of Tsukuba)

"Militarized Society in Fujiang Province during the Republican Era and the Failed Attempt by the Nationalist Government to Integrate the Nation and to Mobilize the Society"

Speaker 2: Yusuke ANAMI (Tohoku University)

"How can we Entice Soldiers away from the Opponent Army? Some Reflections on the Militarized Society during the Republican Era and the Building of Military Power by the Chinese Communist Party"

Discussants: Takashi MARUTA (Hiroshima University), Tatsuro ARATAKE (Tokushima University)

Afternoon Sessions

Plenary Session China's Diplomacy and Neighboring Countries 14:00-17:30

Chair: Kazuko MORI (Waseda University)

Speaker 1: Satoshi AMAKO (Waseda University) On Sino-Japanese Relations

Speaker 2: Masao OKONOGI (Kyushu University) On the Relationship between China and ROK, DPRK

Speaker 3: Yoneji KUROYANAGI (Daito Bunka University) On China-ASEAN Relations

Speaker 4: Go ITO (Meiji University) On China-US Relations

Discussants: Kiichi FUJIWARA (University of Tokyo), Takenori HORIMOTO (Kyoto University)

Session 4 Chinese and Taiwanese Industries 14:00-17:20

Chair and Discussant: Mariko WATANABE (Gakushuin University)

Speaker 1: Chunxia LI (Graduate School of Economics, Senshu University)

"Indigenous Innovation and China's Photovoltaic Industry: Strategic Emerging Industries and the Transformation of Economic Development Mode"

Speaker 2: Shiro HIOKI (Tohoku University)

"Agglomeration Externalities of China's Manufacturing Industries"

Speaker 3: Teruo ASAMOTO (Kyushu Sangyo University)

"Disruptive Innovation made by the Taiwanese Fabless IC Manufacturer, MTK"

Speaker 4: Hui XU (Graduate School of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba)

"The Changes of Development Factors of Offshore Software Outsourcing between Japan and China: The Case of Dalian"

Discussants: Yukihiro SATO (Institute of Developing Economies), Tomoo MARUKAWA (University of Tokyo)

2012年度アジア政経学会東日本大会のご案内
2012年5月19日（土）

アジア政経学会会員各位

新年度を迎え、皆様ご多忙のことと存じます。

さて、2012年度の本学会東日本大会が、5月19日（土）に大東文化大学・板橋校舎にて開催されます。午前の部は、「アジア諸国の対外援助—新しいアプローチ」と題する分科会、そして自由論題報告（3グループ・6報告）の構成となっています。また、午後の部では、「交錯するアジアの『ソフトパワー』」（研究企画委員会企画）および「米中対峙下のASEAN」（開催校企画）という2つのテーマで、共通論題セッション（報告および討論）が行われます。午前・午後ともにタイムリーかつ興味深いテーマのセッションとなり、活発な議論が展開されることが期待されます。皆様ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。多くの会員の方々のご参加をお待ち致しております。

大会の企画・準備につきましては、学会理事長をはじめ、研究企画委員の皆様のご指導、ご協力をいただきながら進めて参りました。ご支援に対し、この場を借りてお礼申し上げます。実行委員としましては、大会の成功に向けて、引き続き準備作業を進めるとともに、当日の運営においても精一杯努力して参る所存です。皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

2012年度アジア政経学会東日本大会
実行委員一同

◆実行委員会メンバー

黒柳米司（実行委員長）、遠藤元、葛目知秀、高安雄一、内藤二郎、中野亜里、鹿錫俊

◆所在地・連絡先：

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 大東文化大学 板橋キャンパス
TEL：03-5399-7300（内線3531） FAX：03-5399-7367（内藤研究室宛）

2012年度アジア政経学会東日本大会プログラム

開催日：2012年5月19日（土）

会場：大東文化大学板橋キャンパス（〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1）3号館

アクセス：東武東上線・東武練馬駅北口下車・無料スクールバスで約7分（スクールバス乗り場まで徒歩5分）（スクールバスの時刻表・乗り場は大東文化大学のウェブサイト

都営三田線・西台駅西口下車・徒歩10分

東武練馬駅から浮間舟渡駅行（国際興業）高島六の橋バス停下車

成増駅北口から赤羽駅西口行または志村三丁目駅行（国際興業）大東文化大学バス停下車

主催：アジア政経学会

日程：5月19日（土） 会場：板橋キャンパス3号館

9:30 受付開始

10:00～12:30 自由論題・自由応募分科会（セッションによって開始時間が異なります）

12:30～14:00 評議員会・理事会
14:00～17:15 共通論題
17:30～19:00 懇親会 会場：板橋キャンパス・カフェテリア《グリーンスポット》
会費：一般会員4000円、学生会員3000円

【自由論題セッション】

(セッションによって開始時間が異なります)

自由論題1 10:00-11:40 アジアの文化産業

司会兼討論：澤田ゆかり（東京外国語大学）

報告1：張永祺（東京大学大学院）

「中国アニメ産業におけるイノベーション」

報告2：鄭榮蘭（早稲田大学大学院）

「金大中政権期の韓国内文化産業の育成策—法・制度の整備及び放送コンテンツの海外進出振興政策を中心として—」

討論：高安雄一（大東文化大学）

自由論題2 10:40-12:30 中国と中国共産党の対外関係

司会：朱建栄（東洋学園大学）

報告1：吉川純恵（早稲田大学大学院）

「中国と国連PKO——「社会化」と「大国化」からの考察」

報告2：岡崎邦彦（大東文化大学）

「西安事変と西北問題善後処理—「調停者」と「謀主」の二役を演じた周恩来・中共中央」

討論1：松田康博（東京大学）

討論2：西村成雄（放送大学）

自由論題3 10:40-12:30 地域経済発展

司会兼討論：吉野文雄（拓殖大学）

報告1：苅込俊二（早稲田大学大学院）

「ASEAN中所得国の持続的成長の諸基盤・条件に関する一考察～世界銀行KAMアプローチによる検証」

報告2：穆堯芋（環日本海経済研究所）

「中国における地域発展戦略の新しい展開—中央主導から地方主導へ」

討論：加藤弘之（神戸大学）

分科会 10:00-12:30 アジア諸国の対外援助——新しいアプローチ

司会:David Potter (南山大学)

報告1：渡辺紫乃（埼玉大学）

「中国の対外援助の新展開—最近の変化の動向とその意味」

報告2：近藤久洋（東京国際大学）

“Korea’s Aid and Taiwan’s Aid: Are They Similar or Different?”

報告3：金孝淑（関西外国語大学）

「韓国の対アフリカODA：外交政策との関係性を中心に」

討論：佐藤仁（東京大学）

【共通論題セッション】

午後（14：00～17：15）

共通論題1 米中対峙下のASEAN

司会：黒柳米司（大東文化大学）

報告1：庄司智孝（防衛研究所）

「南シナ海問題の再燃とベトナムを中心とするASEANの対応－対米接近と対中牽制の態様－」

報告2：佐藤考一（桜美林大学）

「米中対峙と南シナ海紛争：中国の視点から見た資源と安全保障をめぐる問題」

報告3：ナンマイケーカイン（東京外国語大学）

「ミャンマーの民主化動向と経済政策の変化」

討論1：五味俊樹（大東文化大学）

討論2：高原明生（東京大学）

共通論題2 交錯するアジアの「ソフトパワー」

司会：丸川知雄（東京大学）

報告1：高井潔司（桜美林大学）

「中国の文化強国宣言——ソフトパワー発展戦略の方針と課題」

報告2：イ・ミジ（李美智）（京都大学大学院）

「韓国メディア・コンテンツの国外展開——ベトナムとタイを事例に」

報告3：青崎智行（日中経済協会北京事務所）

「日本のコンテンツ海外展開：中国におけるケースを中心に」

討論：小針進（静岡県立大学）

2011年度アジア政経学会東日本大会のご案内
2011年5月21日（土）

アジア政経学会会員各位

アジア政経学会2011年度東日本大会開催にあたって

研究大会のお知らせに先立ち、このたびの東日本大震災により被災された方々に対して心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地ならびに日本全体が少しでも早く復興と再編を遂げられますよう祈念いたします。

さて、2011年度の本学会の東日本大会は、当初の予定どおり、5月21日（土）に獨協大学（埼玉県草加市）にて開催されます。獨協大学関係者一同、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。大会会場には、2010年秋に完成したばかりの耐震性の高い新教室棟を使用します。

今回の大会にも多くの自由論題の応募が寄せられました。午前の自由論題の報告としては5つのセッションが用意されています。また、午後の共通論題としては、「インド大国化のインパクト——アジアにおける国際関係の新展開」と「危機を超えて——アジア経済の強さと課題」の2つのパネルが開かれます。

震災と原発事故の影響が残るやや落ち着かない時期ではありますが、アジア政経学会の頑張る姿と研究実績をアピールする良い機会ですので、会員のみなさまには、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

なお、大会の企画・運営につきましては、学会理事長をはじめ、研究企画委員の理事のみなさんから多大なご支援をいただきながら準備を進めてまいりました。ご支援に対してお礼申し上げますとともに、実行委員会としての至らない点につきましては、何卒ご寛容のほどお願い申し上げます。

東日本大会実行委員一同

■ 獨協大学アジア政経学会東日本大会実行委員会
金子芳樹（委員長）、竹田いさみ 全載旭 高安健一
所在地・連絡先：
340-0042埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学 金子芳樹研究室
TEL/ FAX : 048-943-2167

2011年度アジア政経学会東日本大会プログラム

開催日：2011年5月21日（土）

会場：獨協大学（埼玉県草加市学園町1-1）東館
アクセス：東武伊勢崎線（地下鉄日比谷線、半蔵門線も乗り入れ）
「松原団地駅」西出口より徒歩7分

主催：アジア政経学会

日程：5月21日（土）

9:30 受付開始（東棟2階）

10:00～12:30 自由論題（東棟3階各教室）

12:30～14:00 評議員会・理事会（東棟2階E-203教室）

14:00～17:15 共通論題（東棟2階E-201教室、E206教室）

17:30～19:00 懇親会（東棟5階ラウンジ）

会費：一般3000円、大学院生2000円

実行委員会からのお知らせ：

(1) 昼食と休憩所について

大会当日の昼食は、キャンパス内の「学生食堂」（35周年記念館2階）および「教職員食堂」（中央棟2階）が利用可能です。また、松原団地駅周辺、大学西門周辺には飲食店が多数あります。会場内の休憩スペースとして、東棟3階ラウンジおよび中庭をお使いください。茶菓子を用意します。

(2) 要旨集とフルペーパー

報告者のレジュメ（各1ページ）をまとめた大会要旨集を当日受付で配布します。また、自由論題のフルペーパーは、5月初旬以降、学会のHP上で閲覧できるように掲載します。閲覧の際に必要なIDとパスワードは、会員のみなさまに電子メールでお知らせします。

(3) 開催通知の発送と出欠アンケート

メールアドレスを登録しておられる会員の方々へは、正式な開催通知を電子メールで配信いたします。また、アドレスの変更等により電子メールが配信できない会員や紙媒体での通知を特に申請された会員には郵送でお送りします。開催通知に含まれている出欠アンケートにご回答の上、ご返送ください。

(4) 託児室の設置について

今回は希望者がいらっしゃいませんでしたので、託児室は設けないことにしました。

【自由論題セッション】

午前（10：00～12：30）

自由論題1 中国——現代中国の政治・軍事・外交

司会：山田辰雄（慶應義塾大学名誉教授）

報告1：土屋貴裕（防衛大学校）

「中国の『国防費』と『軍事経費』——「軍事財務」体系に基づく支出体系」

報告2：小笠原欣幸（東京外国語大学）

「胡錦濤政権の対台湾政策」

報告3：高橋祐三（東海大学）

「『中国モデル』と中国の政党制度理論」

討論1：阿南友亮（東北大学）

討論2：清水 麗（桐蔭横浜大学）

自由論題2 中国——中国現代史の新たな視角

司会：家近亮子（敬愛大学）

報告1：王 雪萍（東京大学）

「廖承志と建国初期中国の対日工作者」

報告2：李 海燕（東京理科大学）

「大躍進・文革期における少数民族地区に対する統合のプロセスに対する一考察——延辺朝鮮族自治州を中心に（1958～1978）」

討論1：星野昌裕（南山大学）

討論2：木下恵二（慶應義塾大学）

自由論題3 中国——現代中国の経済と社会

司会：中兼和津次（青山学院大学）

報告1：興津正信（中国・天津商業大学）

「中国・海河流域における水利権問題——水環境保全と経済開発の枠組みの中で」

報告2：石 暁岩（筑波大学大学院）

「中国における社会・金融政策の現状と農戸の内部安定化機能——山東省L村を事例として」

討論1：相川 泰（鳥取環境大学）

討論2：寶劔久俊（アジア経済研究所）

自由論題4 東南アジア——現代東南アジアの政治・経済・社会

司会：川中 豪（アジア経済研究所）

報告1：美甘信吾（信州大学）

「政治制度と経済ガバナンス——タイ・インドネシア・フィリピンの比較研究」

報告2：梶本歩美（東京大学大学院）

「村落社会に埋め込まれた森林政策——フィリピンの住民に基づく森林管理を事例として」
報告3：福島浩治（法政大学）
「フィリピン財政の分権化——LGC1991成立20年の検証」
討論1：五十嵐誠一（千葉大学）
討論2：木村昌孝（茨城大学）

自由論題5 中国／韓国／朝鮮——北東アジアの政治・経済・国際関係

司会：小此木政夫（慶應義塾大学）
報告1：張 継佳（獨協大学大学院）
「中日・中韓の産業内貿易構造の比較分析」
報告2：高 賢来（東京大学大学院）
「1950年代の米国の対北東アジア政策と韓国経済の諸問題——為替レートと輸出振興を中心に」
報告3：黄 宰源（早稲田大学）
「独島／竹島問題をめぐる日韓新聞報道の比較 1962-1965——関連記事の言説分析を中心に」
討論1：全 載旭（獨協大学）
討論2：小針 進（静岡県立大学）

【共通論題セッション】
午後（14：00～17：15）

共通論題1 インド大国化のインパクト——アジアにおける国際関係の新展開

司会：広瀬崇子（専修大学）
報告1：三船恵美（駒澤大学）
「中国の対インド政策」
報告2：勝間田弘（早稲田大学）
「インドの『東南アジア』外交とASEANの『東アジア』外交」
報告3：伊藤兵馬（獨協大学）
「アメリカの対インド政策——中国の台頭と米印関係の展開」
報告4：伊藤 融（防衛大学校）
「グローバル化するインド外交——『世界大国』を目指して」
討論：高木誠一郎（日本国際問題研究所）

共通論題2 危機を超えて——アジア経済の強さと課題

司会：絵所秀紀（法政大学）
報告1：駒形哲哉（慶應義塾大学）
「内需主体新興産業の形成と発展——中国・電動二輪車産業の事例から」
報告2：大泉啓一郎（日本総合研究所）
「ASEAN諸国経済のV字回復と中所得国のワナ」
報告3：佐藤幸人（アジア経済研究所）
「台湾——成長軌道への回帰と新しい発展メカニズムの模索」
討論：天野倫文（東京大学）
佐藤百合（アジア経済研究所）

* お問い合わせ先

獨協大学内 アジア政経学会東日本大会実行委員会
340-0042埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学 金子芳樹

アジア政経学会2010年度東日本大会 プログラム

日 程：2010年5月22日（土）
会 場：北海道大学
主 催：アジア政経学会東日本大会実行委員会
共 催：北海道大学スラブ研究センター

東日本大会事前登録システム締め切りのお知らせ

ホームページからの東日本大会事前登録システムは締め切りましたが、事前にご登録の無い方でも大会にはご参加頂けますので、当日、直接会場受付までお越しください。なお、今回の東日本大会では託児室の申し込みが無かったため、設置いたしませんのでご了承ください。

東日本大会実行委員会
研究企画委員会

【当日のスケジュール】

受付開始：9時30分～

自由論題：10時00分～12時15分

* 受付及び自由論題会場：人文社会科学教育研究総合棟（W棟）2階ほか

共通論題及びレセプション会場：スラブ研究センター4階

評議会・理事会：12時30分～14時00分

編集委員会：17時00分～17時30分

共通論題：14時00分～17時00分

懇親会：17時30分～18時30分（会費：2000円）

託児室：9時30分～19時00分

休憩室：9時00分～17時00分

* 各会場の教室詳細や施設は当日、W棟2階の受付にてご案内します。昼食は徒歩5分程度の生協中央食堂をご利用ください。また宿泊については各自の手配をお願いします。

◆5月22日（土）午前（10：00～12：15）

第1分科会 成長する中国経済と社会の変動

司会 佐藤幸人（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

報告

小原江里香（津田塾大学）

「大都市近郊農村における出稼ぎ労働者と農村住民との賃金格差とその決定要因—中国・浙江省慈溪市の就業データを利用して」報告要旨

張馨元（東京大学）

「中国におけるトウモロコシ農家の経営状況—吉林省四平市Y村のアンケート調査を中心に」報告要旨

李嗣堯（北海道大学）

「台湾企業の対中国直接投資と産業別貿易への影響」報告要旨

第2分科会 東アジア国際関係の新機軸

司会 唐亮（早稲田大学）

報告

池炫周直美（北海道大学）

「李明博政権における対外政策の行方：『積極的東アジア外交』と『グローバル・コリア戦略』を中心に」報告要旨

李恩民（桜美林大学）

「日中歴史和解の可能性の研究 ―中国人強制連行の歴史和解を中心に―」報告要旨

加藤美保子（北海道大学）

「ロシアによる『多極』世界秩序の追求と東アジア政策への影響：エリツィン政権からプーチン政権までを中心に」（5/10修正版）報告要旨

第3分科会 東アジアと東南アジアの国際関係

司会 田村慶子（北九州市立大学）

報告

細川大輔（大阪経済大学）

「中国-ASEAN経済圏構想のゆくえ―汎北部湾経済協力を中心として―」報告要旨

平川幸子（早稲田大学）

「マレーシアの対中接近とASEAN協調(1968-1975)」報告要旨

平山陽洋（北海道大学）

「第1次インドシナ戦争期の北ベトナムにおける農業税の導入―冷戦下の政治史の一断面」報告要旨

第4分科会 東南アジア諸国の財政と政治

司会 清水一史（九州大学）

報告

谷村真・金仁洙（国際協力銀行）

「フィリピン：アロヨ政権の財政健全化政策と今後の課題」報告要旨

福島康博（東京外国語大学）

「ドバイ・ショックとイスラム金融：マレーシア経済への影響と教訓」報告要旨

水上祐二（在タイ日本国大使館）

「クーデター以降のタイの政治献金動向」報告要旨

第5分科会 比較の中のアジア日系企業：社会学と経済学の対話

司会兼

討論 末廣昭（東京大学）

報告

園田茂人（東京大学）

「アジア日系企業における現地従業員の『まなざし』：時系列分析による知見から」報告要旨

岸保行（東京大学）

「台湾・香港・中国に進出した日系ものづくり企業で働く長期勤続マネジャー：その生成過程と特質に関する比較社会学的研究」報告要旨

討論 鈴木岩行（和光大学）

第6分科会 現代東南アジアの国政選挙：勝利を目指して

司会 玉田芳史（京都大学）

報告

河野元子（政策研究大学院大学）

「賞罰の政治は続くのか？マレーシアにおける選挙戦とマレー政治」報告要旨

岡本正明（京都大学）

「インドネシアにおける民主化とイメージ選挙ビジネスの台頭」報告要旨

日下渉（京都大学）

「“ピープル”vs“大衆”？フィリピン大統領選挙における2つのポピュリズム」報告要旨

討論 中西嘉宏（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

◆5月22日（土）午後（14：00～17：00）

共通論題Ⅰ 中国と「辺疆」：隣国との間（日中同時通訳）

（共催：グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」／新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」）

司会 石井明（東京大学名誉教授）

報告

川島真（東京大学）

「国境の記憶:近現代中国の場合」報告要旨

李国強（中国社会科学院边疆地史研究所）

「中国と周辺国家の海上国境問題」報告要旨

佐藤考一（桜美林大学）

「中国と『边疆』：海洋国境 - 南シナ海の地図上のU字線をめぐる問題 -」報告要旨

吉田修（広島大学）

「インドの対中関係と国境問題」報告要旨

討論

邢広程（中国社会科学院边疆地史研究所）

岩下明裕（北海道大学）

共通論題II 党、暴力、社会——近現代中国における暴力の考察

司会 高橋伸夫（慶應義塾大学）

報告

林秀光（慶應義塾大学）

「現代中国政治における暴力(仮題)」報告要旨

金野純（学習院女子大学）

「文化大革命における暴力(仮題)」報告要旨

蒲豊彦（京都橘大学）

「近代中国の大量死と政治的暴力——広東東部地域を中心として」報告要旨

討論

阿南友亮（東京成徳大学）

竹中千春（立教大学）

* 企画についてのお問い合わせ

アジア政経学会研究企画委員会

竹中 千春（立教大学法学部・研究企画委員会主任）

連絡先： 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1立教大学法学部 竹中 千春

* 会場及び登録についてのお問い合わせ

北海道大学スラブ研究センター内アジア政経学会大会実行委員会

岩下 明裕（世話人）

連絡先： 〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目

担当： 合田由美子

**The 2010 East Japan Convention of
the Japan Association for Asian Studies (JAAS)
22th (Saturday) May 2010
Hokkaido University**

◆ May 22 (Saturday)

Morning Sessions (10 : 00~12 : 15)

Session1 Economic Growth and Social Change in China

Chair	SATO, Yukihiro (Institute of Developing Economies-JETRO)
Speakers	OBARA, Erika (Tsuda College) “What Determines the Wage Gap between Migrants and Local Inhabitants in Suburban Villages? Empirical Evidence in the City of Cixi, Zhejiang Province, China”
	ZHANG, Xin Yuan (The University of Tokyo) “The Management of Farm Households in Corn Production in China: A Case Study of Village Y in Jilin Province”
	LEE, Tzu-Yao (Hokkaido University) “The Economic Relations between Taiwan and China: A Study of FDI from Taiwan to China and Its Effects on Trade”

Session2 International Relations in Northeast Asia

Chair	TANG, Liang (Waseda University)
Speakers	CHI, Hyunjoon Naomi (Hokkaido University) “Lee Myung Bak’s Foreign Policy toward Northeast Asia: Active Asian Diplomacy and Global Korea Initiative”
	LI, Enmin (J. F. Oberlin University) “The Possibility of Sino-Japanese Reconciliation: A Case Study of Chinese Forced Laborers”
	KATO, Mihoko (Hokkaido University) “The Interpretation of Russia’s Quest for “Multi-polarity” and its Influence on her East Asian Policy under Yeltsin and Putin”

Session3 International Relation in Southeast Asia

Chair	TAMURA, Keiko. T (The Kitakyushu University)
Speakers	HOSOKAWA, Daisuke (Osaka University of Economics)

	“The Outcome of China-ASEAN Economic Cooperation: A Study of Pan-Beibu Gulf (Gulf of Tonkin) Economic Cooperation”
	HIRAKAWA, Sachiko (Waseda University) “Malaysia’s Rapprochement with China and ASEAN’s Diplomatic Cooperation (1968-1975)”
	HIRAYAMA, Akihiro (Hokkaido University) “The Introduction of the Agricultural Tax in North Vietnam during the First Indochina War: One Page of Political History under the Cold War”

Session4 Political Economy of Southeast Asian Countries

Chair	SHIMIZU, Kazushi (Kyushu University)
Speakers	TANIMURA, Shin / KIM, Insu (Japan Bank for International Cooperation) “Fiscal Consolidation Policy under the Arroyo Administration: Its Impact and Challenges Ahead”
	FUKUSHIMA, Yasuhiro (Tokyo University of Foreign Studies) “Dubai Crisis and Islamic Finance: Impacts on Malaysia’s Economy and Lessons”
	MIZUKAMI, Yuji (Embassy of Japan in Thailand) “The Trend of Political Donation in Thailand After The 2006 Coup”

Session5 Japanese Multinationals in Asia in Comparative Perspective: Dialogue between Sociology and Economics

Chair and Discussants	SUEHIRO, Akira (The University of Tokyo)
Speakers	SONODA, Shigeto (The University of Tokyo) “Local Employee's Views on Japanese Multinationals in Asia in Comparative Perspective: Some Research Findings of Time-series Data Analysis”
	KISHI, Yasuyuki (The University of Tokyo) “The Long Service Managers of Japanese Manufacturing Companies in Taiwan, Hong Kong and Mainland China: A Comparative Sociological Study of Their Generation Processes and Their Characteristics”
Discussants	SUZUKI, Iwayuki (Wako University)

Session6 National Elections in Contemporary Southeast Asia

Chair	TAMADA, Yoshifumi (Kyoto University)
Speakers	KAWANO, Motoko (National Graduate Institute for Policy Studies) “Approaching toward an End of Politics of Reward and Punishment?: Elections and Malay-Ethnic Politics in Malaysia”
	OKAMOTO, Masaaki (Kyoto University) “Democratization and Emergence of Image Consulting Business in Indonesia”
	KUSAKA, Wataru (Kyoto University) “ <i>People vs. Mass</i> : Two Kinds of Populism in the 2010 Philippine Presidential Election”
Discussants	NAKANISHI, Yoshihiro (Institute of Developing Economies - JETRO)

◆May 22 (Saturday)

Afternoon Sessions (14 : 00~17 : 00)

Plenary Session I

China and Its Neighbors: Interchange at the Borderlands

Chair	ISHII, Akira (Professor of Emeritus, The University of Tokyo)
Speakers	KAWASHIMA, Shin (The University of Tokyo) “The Formation of Memory on the National Border: The Case of Modern China”
	LI, Guo Qiang (Research Center for China's Borderland History and Geography Studies, Chinese Academy of Social Science) "China and Border Issues “(TBA)
	YOSHIDA, Osamu (Hiroshima University) “India's China Relations and the Border Issue”
	SATO, Koichi (J. F. Oberlin University) “China's "Frontiers": Issues of the Territorial Claims at Sea”
Discussants	XING, Guangcheng (Research Center for China's Borderland History and Geography Studies, Chinese Academy of Social Science)
	IWASHITA, Akihiro (Hokkaido University)

Plenary Session II

The Party, Violence, and Society: Collective Violence in the 20th Century China

Chair	TAKAHASHI, Nobuo (Keio University)
Speakers	LIN, Shuko (Keio University) “Collective Violence and Contemporary Chinese Politics”
	KONNO, Jun (Gakushuin Women's College) “Collective Violence in the Cultural Revolution”
	KABA, Toyohiko (Kyoto Tachibana University) “Mass Killings and Political Violence in Modern China: The Case of East Guangdong”
Discussants	ANAMI, Yusuke (Tokyo Seitoku University)
	TAKENAKA, Chiharu (Rikkyo University)

2009年度アジア政経学会東日本大会のご案内 2009年5月23日（土）

アジア政経学会 会員各位

アジア政経学会東日本大会
実行委員長 吉野文雄（拓殖大学）

アジア政経学会2009年度東日本大会開催にあたって

爽やかな新緑の季節となりましたが、会員の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度のアジア政経学会東日本大会を拓殖大学で開催することになりました。会員の皆様におかれましては、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただければ幸いです。

今年度は共通論題として「世界金融危機とアジア」と「アジアの安全保障」の2つを設けました。今後のアジアの行く末、世界の将来像を考える上で、われわれ研究者にとって喫緊の課題といえましょう。また、会員からの投稿で構成される自由論題は、「中国の経営と経済」、「中国の歴史と社会」、「南・西アジアの政治と外交」、「ASEAN共同体をめぐって」の4つの分科会に分けて報告が行われます。各報告は、共通論題と同様に今日的課題であり、内容は多様です。また分科会に分かれているとはいえ、交差する点も少なくありません。若い方々の積極的で新鮮な問題意識に基づく研究報告によって、専門を超えて多くの示唆を得ることができると確信しております。会員の皆様には是非多くの分科会の討論に参加されることをお勧めいたします。

大会運営に関しましては、理事長をはじめ、理事各位、前実行委員会から多大な支援をいただき準備をして参りました。ただ、何分にも経験が浅く、実行委員会の所帯も小さいために、会員各位のご期待に十分沿えないことも多いと思います。至らない点は何卒ご寛恕のほどお願い申し上げます。

■拓殖大学アジア政経学会東日本大会実行委員会

吉野文雄（海外事情研究所・実行委員長）

岩崎育夫（国際学部・学会理事）

茂木創（政経学部・実行副委員長）

連絡先：

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14

拓殖大学海外事情研究所

吉野文雄

電話 03-3947-2323 ファクス 03-3947-2397

アジア政経学会2009年度 東日本大会プログラム

日 程：2009年5月23日（土）

会 場：拓殖大学文京キャンパス

主 催：拓殖大学アジア政経学会東日本大会実行委員会

受付開始：9時30分～（C館 3階）

自由論題：10時00分～12時15分（C館 4階各教室）

編集委員会：16時00分～17時30分（C館 510教室）

評議会・理事会：12時30分～14時00分（C館 605教室）

共通論題：14時00分～17時00分（C館 401教室・501教室）

懇親会：17時30分～19時00分（茗溪会館）

託児室：9時30分～19時00分（C館 601教室）

休憩室：9時00分～16時00分（C館 603教室）

学生スタッフ控室（C館 602教室）

* 各会場の教室詳細は以下の個別会場説明をご参照ください。

■ 自由論題 10時00分～12時15分 ■

第1分科会 中国の経営と経済

会場：C館403教室

司会 大橋英夫(専修大学)

1. ハスピリギ(一橋大学大学院)、「中国上場企業における国家支配の決定要因分析」
2. 黄媚(筑波大学大学院)、「私営企業家調査からみた中国コーポラティズム構造の現状—温州市私営企業家調査(2008年)に基づいて—」
3. 朱いい(東京大学大学院)、「中国における外資系小売企業の企業文化について —カルフルの人的資源管理の現地化を中心に—」 図表

第2分科会 中国の歴史と社会

会場：C館404教室

司会 家近亮子(敬愛大学)

1. 黄斌(早稲田大学大学院)、「章炳麟によるネーション像の模索——「排満」思想の変遷を中心に」
2. 王冰(筑波大学大学院)、「中国のマスメディア改革と新聞社の動向についての考察—南方報業メディア集団の事例を中心に」

第3分科会 南・西アジアの政治と外交

会場：C館405教室

司会 堀本武功(尚美学園大学)

1. 中溝和弥(成蹊大学)、「暴動と宗教ナショナリズム—インド：ウッタール・プラデーシュ州とビハール州における1991年下院選挙の比較分析—」
2. 新井春美(拓殖大学大学院)、「トルコ=パキスタン条約とその内容」
3. 清田智子(拓殖大学大学院)、「インドの安全保障環境の変化と軍事力増強」

第4分科会 ASEAN共同体をめぐる

会場：C館406教室

司会 岩崎育夫(拓殖大学)

1. 鈴木早苗(日本貿易振興機構アジア経済研究所)「ASEAN憲章」
2. 庄司智孝(防衛研究所)「ASEAN政治・安保共同体」
3. 清水一史(九州大学)「ASEAN経済共同体」
(この分科会にはフルペーパーはありません。)

■ 共通論題 14時00分～17時00分 ■

共通論題I 世界金融危機とアジア

会場：C館401教室

司会者：渡辺利夫(拓殖大学)

報告者：

白井さゆり(慶応義塾大学)：「米国サブプライム・ローン危機と東アジア」

渡邊真理子(アジア経済研究所)：「中国経済の転換と世界危機」

大泉啓一郎(日本総合研究所)：「世界経済後退とASEAN経済—タイとマレーシアを中心に」

コメンテーター

小島真(拓殖大学)

高安健一(獨協大学)

共通論題II アジアの安全保障

会場：C館501教室

司会者：森本敏(拓殖大学)

報告者：

黒柳米司(大東文化大学)、「ASEANの安全保障」

高木誠一郎(青山学院大学)、「中国の対アジア安全保障戦略」

秋元一峰(海洋政策研究財団)、「アジアにおける海洋の安全保障」

下川真樹太(外務省総合外交政策局安全保障政策課)、「ARF—現状と課題」

菊池努(青山学院大学)、「アジアにおける多国間安全保障枠組みと安全保障協力」

大会実行委員会からのお願い

1.出欠アンケート

出欠アンケートにご回答ください。

2.会場周辺

大会会場となっている拓殖大学文京キャンパスは池袋から丸ノ内線で約10分の場所にあります。昼食は、近隣の飲食店のご案内（ランチマップ）をご覧ください。このランチマップは大会当日に受付でお渡しします。

3.受付と各会場

大会の主会場、文京キャンパスは丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩約5分のところにあります。自由論題・共通論題ともにC館で行われます。

4.要旨集とフルペーパー

報告者のレジュメ（各1ページ）を1冊にまとめた大会要旨集を受付で配布します。それぞれのフルペーパーは学会のホームページ上で閲覧できるように掲載する予定です。聴講する分科会を選ぶ際の参考にしてください。閲覧の際には、IDとパスワードが必要です。

5.懇親会

懇親会は駅を出て春日通りを池袋方面（左折）に向かって150mほどのところにございます茗溪会館で17時30分～19時00分に開催します。参加を希望する方は、参加費用の5000円（大学院生4000円）を当日、受付でお支払いください。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

6.託児所設置のお知らせ

小さいお子さんを連れて参加される会員のために、託児所を設置します。ご利用希望者は『託児室設置のお知らせ』をご覧ください。5月15日（金）午後4時までにFAXにて学会総務事務局までお申し込み下さい。

アジア政経学会総務担当事務局 澤田 ゆかり 宛

2008年度アジア政経学会東日本大会のご案内 2008年5月24日（土）

アジア政経学会2008年度東日本大会開催にあたって

爽やかな新緑の季節となりましたが、会員の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度のアジア政経学会東日本大会を東京外国語大学で開催することになりました。会員の皆様におかれましては、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただければ幸いです。

今年度は共通論題として「ジェンダーの視点から見た現代アジア」と「アジアにおける人の国際移動:受容と権利」の2つを設けました。前者は、政治的、経済的、社会的な現象や問題をジェンダーの視点から眺めると何がどのように違って見えてくるか、さらには「ジェンダーの視点」それ自体が何を指し何を含むのかを、各分野で実績のある方々に分析していただきます。後者は、グローバル化が著しく進展しアジアにおいても「人の国際移動」が活発化する中で、移動する人々と受け入れ国の事情を各地域の専門家の方々に多角的に分析していただき、複眼的に検証することを通して、21世紀アジアにおける新たな多言語、多文化社会のあり方を展望しようとするものです。

会員からの投稿で構成される自由論題は、「企業と経済」、「産業と社会」、「中国共産党と農村」、「政治と外交」の4つの分科会に分けて報告が行われます。各報告は、共通論題と同様に今日的課題であり、内容は多様です。また分科会に分かれているとはいえ、交差する点も少なくありません。若い方々の積極的で新鮮な問題意識に基づく研究報告によって、専門を超えて多くの示唆を得ることができると確信しております。会員の皆様には是非多くの分科会の討論に参加されることをお勧めいたします。

大会運営に関しましては、理事長をはじめ、理事各位、前実行委員長から多大な支援をいただき準備をして参りました。ただ、何分にも経験が浅く、実行委員会の所帯も小さいために、会員各位のご期待に十分沿えないことも多いと思います。至らない点は何卒ご寛恕のほどお願い申し上げます。

■東京外国語大学アジア政経学会東日本大会

臼井佐知子（外国語学部・実行委員長）

井尻秀憲（外国語学部）

栗原浩英（アジア・アフリカ言語文化研究所）

澤田ゆかり（外国語学部）

左右田直規（外国語学部）

宮田敏之（外国語学部）

連絡先：

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学外国語学部 澤田ゆかり

アジア政経学会2008年度 東日本大会プログラム

日 程：2008年5月24日（土）

会 場：東京外国語大学府中キャンパス 研究講義棟

主 催：東京外国語大学アジア政経学会東日本大会実行委員会

共 催：東京外国語大学海外事情研究所

受付開始：9時30分～（研究講義棟 1階ガレリア・ホール）

自由論題：10時00分～12時15分（研究講義棟 1階各教室）

編集委員会：16時00分～17時30分（研究講義棟 1階112教室）

評議会・理事会：12時30分～14時00分（研究講義棟 1階112教室）

共通論題：14時00分～17時00分（研究講義棟 1階101・115教室）

懇 親 会：17時30分～19時00分（大学会館 2階特別食堂）

託 児 室：9時30分～19時00分（研究講義棟 8階821室）

休 憩 室：9時00分～17時00分（研究講義棟 1階106教室）

* 各会場の教室詳細は以下の個別会場説明をご参照ください。

※各報告のリンク先ペーパーを見るにはIDとパスワードの入力が必要です。東日本地区の会員には5月7日にメールにてIDとパスワードをお知らせいたします。

■ 自由論題 10時00分～12時15分 ■

分科会I 企業と経済 会場：研究講義棟107教室

司会者：丸川知雄（東京大学）

報告者：

1. 山口昌樹（山形大学）「中国企業の企業間信用—国有企業と非国有企業との比較分析—」要旨 フルペーパー
2. ハスビリギ、竹康至（一橋大学大学院）「中国上場企業の資金調達構造—製造業における政府支配の影響分析—」要旨 フルペーパー
3. 池上寛（日本貿易振興機構アジア経済研究所）「台湾航空貨物輸送における仮陸揚げ貨物」要旨 フルペーパー

分科会II 産業と社会 会場：研究講義棟108教室

司会者：唐亮（法政大学）

報告者：

1. 頼俊輔（横浜国立大学大学院）「ボトル入り飲料水市場の広がりを見る水の商品化過程—インドネシア2004年水資源法と水道事業民営化の考察から—」要旨 フルペーパー
2. 任哲（早稲田大学大学院）「中国の土地市場化過程における地方政府の役割分析」要旨 フルペーパー
3. 黄媚（筑波大学大学院）「中国における業界団体の基本構造分析—北京市・浙江省・黒竜江省の社団調査（2000-2004年）を基礎にして」要旨 フルペーパー

分科会III 中国共産党と農村 会場：研究講義棟113教室

司会者：臼井佐知子（東京外国語大学）

報告者：

1. 鄭浩瀾（慶應義塾大学）「中国農村における人民公社の成立過程—江西省の村落を事例として—」要旨 フルペーパー
2. 岡崎邦彦（大東文化大学東洋研究所）「1937年朱毛出洋問題」要旨 フルペーパー
3. リンチン（東京外国語大学大学院）「内モンゴルの牧畜業地域における社会主義教育に関する考察」要旨 フルペーパー

分科会IV 政治と外交 会場：研究講義棟114教室

司会者：井尻秀憲（東京外国語大学）

報告者：

1. 川端隆史（外務省）「9・11事件以後の東南アジア諸国の国際テロ対策協力—対米協調とイスラーム政治」要旨 フルペーパー
2. 布施哲（テレビ朝日政治部）「米国外交政策決定過程における台湾ロビー～李登輝訪米ビザ問題を中心に～」要旨 フルペーパー

■ 共通論題 14時00分～17時00分 ■

共通論題I

ジェンダーの視点から見た現代アジア

会場：研究講義棟101教室

政治的、経済的、社会的な現象や問題をジェンダーの視覚から眺めると何が、どのように違って見えてくるのだろうか。また、「ジェンダーの視点」そのものが何を指し、何を含むのだろうか。様々な面で注目される「ジェンダー」を本格的に取り上げ、各分野で実績のある報告者に包括的かつ具体的に論じてもらう本学会初の試みである。

司会者：金子芳樹（獨協大学）

報告者：

1. 瀬地山角（東京大学）「東アジアとジェンダー：就労パターンの比較社会学」要旨
2. 田村慶子（北九州市立大学）「東南アジアの国際移住労働と「家族」」要旨
3. 吉村真子（法政大学）「東南アジアの労働・ジェンダー・セクシュアリティ」要旨
4. 竹中千春（立教大学）「南アジア政治のジェンダー・ダイナミクス」要旨

共通論題II アジアにおける人の国際移動：受容と権利

会場：研究講義棟115教室

グローバル化の著しい進展の中で、アジアにおいても「人の国際移動」はますます活発化している。移民、研修生、または出稼ぎなど様々な形態で、多くの人々が移動し、母国を離れて、「外国」に居住し、労働に携わっている。本共通論題では、受け入れ国、移動する人々の事情などを多角的に情報交換し、「人の国際移動」を複眼的に検証し、21世紀アジアにおける、新たな多言語・多文化社会のあり方を展望する。

司会者：栗原浩英（東京外国語大学）

報告者：

1. 北脇保之（東京外国語大学）「日本の外国人受入れの実態と地方自治体の政策～南米系とアジア系～」要旨
2. 田嶋淳子（法政大学）「国境を越える社会空間の生成と中国系移住者」要旨
3. 陳天璽（国立民族学博物館）「国際移動の主体に見るアイデンティティ—華僑・華人の「帰る場所」要旨
4. 玉田芳史（京都大学）「外国人受け入れ国としてのタイ：流入と国籍をめぐる歴史」要旨

大会実行委員会からのお願い

1. 出欠アンケート

出欠アンケートにご回答ください。5月17日（土）までに、電子メールでご送信ください。

2. 宿泊施設

大会会場となっている東京外国語大学は新宿から約40分の場所にあります。またキャンパス近くの宿泊施設はこちらのホテル一覧をご参考になさってください。昼食は、近隣の飲食店のご案内（ランチマップ）をご覧ください。このランチマップは大会当日にも受付でお渡しします。

3. 受付と各会場

大会の主会場、研究講義棟は西武多摩川線多磨駅から徒歩約5分のところにあります。改札口（一個所のみ）を出てから、すぐ左方向に進み、左手にある地下通路をくぐって線路の反対側コンコースに出てください。そのままコンコースの歩道を道なりに斜め右に進むと、駐輪場を経て信号のある交差点に出ます。コンビニ（スリーエフ）を背にして信号を渡ると、東外大のキャンパス入り口に到着します。そこから正面右手にレンガデザインの8階建てのビル（研究講義棟）があります。その1階ホールに受付を用意致します。自由論題・共通論題ともに1階で行われます。懇親会会場は大会会場を出てすぐ右手の大学会館2階特別食堂で行われます。受付の時間から懇親会の時間まで、主要な場所には案内係の学生を配置します。

4. 要旨集とフルペーパー

報告者のレジュメ（各1ページ）を1冊にまとめた大会要旨集を受付で配布します。それぞれのフルペーパーは学会のホームページ上で閲覧できるように掲載する予定です。聴講する各部会を選ぶ際の参考にしてください。閲覧の際には、IDとパスワードが必要です。アジア政経学会の東日本地区の会員には、5月8日に電子メールにてIDとパスワードを通知いたします。西日本地区の会員で参加をご希望の方は、別途事務局までお問い合わせください。

5. 懇親会

懇親会は大会会場を出てすぐ右手の大学会館2階の特別食堂で17時30分～19時00分に開催します。参加を希望する方は、参加費用の3000円を当日、受付でお支払いください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

6. 託児所設置のお知らせ

小さいお子さんを連れて参加される会員のために、託児所を設置します。ご利用希望者は『託児所設置のお知らせ』をご覧ください。5月16日（金）までにFAXにて学会総務事務局までお申し込み下さい。託児所開設時間は昨年より延長となり、午前9時半から午後7時までです。懇親会の最初の1時間はご参加いただけません。

2007年度アジア政経学会東日本大会のご案内 2007年5月26日(土)

アジア政経学会2007年度東日本大会開催にあたって

学習院大学アジア政経学会東日本大会
実行委員長 中居良文

春暖の候、会員各位におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、今年度のアジア政経学会東日本大会を学習院大学で開催することになりました。会員各位におかれましては、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただければ幸いです。
今年度は共通論題に「アジアのメディアの現状と可能性—市場と国家の間で」と「近隣諸国から見た中国の台頭：対中政策の変化と方向性」の2つを設けました。前者は中国、東南アジア、南アジア、西アジアの国・地域において、メディアがどのような発展を遂げ、どのような社会的使命を担い、グローバル化にどのように対応しているのかを、メディアの現場に詳しい専門家に分析していただきます。後者は著しい経済発展を遂げつつある中国を、近隣諸国がどう捉え、どのような外交関係を構築しようとしているのかに焦点をあて、アジアの中での中国を浮かび上がらせることを意図しています。朝鮮半島、東南アジア、南アジア、中央アジアの第一線の専門家が結集しました。
会員からの投稿で構成される自由論題は、5つの分科会に分けて報告がなされます。分科会は安全保障、対外認識、グローバルガバナンス、経済、政治的安定といったカテゴリーに分けられています。しかし、これらは便宜的な仕分けに過ぎません。報告者の論点、関心、分析手法は非常に多様かつ豊富であり、会員の皆様には是非多くの分科会の討論に参加されることをお勧めします。報告はいずれも力作揃いであり、今のアジアを考える上で多くの示唆を得ることができると思います。
大会運営に関しましては、理事長をはじめ、理事各位、前実行委員長から多大な支援をいただき準備をして参りました。ただ、何分にも経験が浅く、実行委員会の所帯も小さなものですから、会員各位のご期待に沿えない部分も多いことと危惧します。至らない点は平にご容赦願いますようお願い申し上げます。

■ 学習院大学アジア政経学会2007年度東日本大会実行委員会
磯崎典世(法学部)
中居良文(法学部・実行委員長)

連絡先：
〒171-8588東京都豊島区目白1-5-1
学習院大学法学部 中居良文
電話03-3986-0221 FAX 03-5992-1006

アジア政経学会2007年度東日本大会プログラム

日 程：2007年5月26日(土)
会 場：学習院大学目白キャンパス 西2号館 5階
主 催：学習院大学アジア政経学会東日本大会実行委員会
受付開始：9時30分～(西2号館 5階エレベーターホール)
自由論題：10時00分～12時15分(西2号館 5階各教室、4階403教室)
編集委員会：16時00分～17時30分(西2号館 506教室)
理 事 会：12時30分～14時00分(西2号館 505教室)
共通論題：14時00分～17時00分(西2号館 501・502教室)
懇 親 会：18時00分～20時00分(輔仁会館食堂)

■ 自由論題 10時00分～12時15分 ■

分科会 I アジアの安全保障 会場：西2号館504教室
司会者：茅原郁生(拓殖大学)
報告者：
1長尾賢(学習院大学大学院)「パキスタンはテロ支援国家か？」
2勝間田弘(防衛・戦略問題研究所)「『東アジア共同体』とASEANの協調的安 全保障」
3山元菜々(東京大学大学院)「1960年代アジア地域主義とオーストラリアの安全保障—ASPAC協力をめぐる反共と対中共存のはざま—」

分科会 II メディアと対外認識 会場：西2号館503教室
司会者：澤田ゆかり(東京外国語大学)
報告者：
1祁景えい(桜美林大学)「中国のインターネットにおける9・11事件の反応—公式報道との比較的視点から」
2杉浦康之(慶應義塾大学大学院)「戦後日中関係の『断絶』における中国の対日情勢認識—第四次日中民間貿易協定交渉過程と長崎国旗事件を中心に—」
3倉田徹(東京大学大学院)「香港メディアの中国政治への影響力：言論の自由は越境できるか？」
4王雪萍(慶應義塾大学グローバルセキュリティー研究所)「日本派遣国費留学生に対する中国政府による予備教育の実態調査—1979～1984年東北師範大学における赴日学部留学生に対する教育を中心に—」

分科会 III グローバルガバナンスの課題 会場：西2号館505教室
司会者：菱田雅晴(法政大学)
報告者：

- 1鄭君愚（横浜国立大学大学院）「東アジアにおける産業高度化と経済統合—日本のプレゼンスとEPA戦略を中心に—」
 2興津正信（大東文化大学大学院）「中国の水環境保護体制及び污染防治 政策の歴史—海河流域を中心に—」
 3新熊隆嘉（東京外国語大学）「東アジアにおけるE-wasteのマテリアルフローの解明と国際貿易政策の再検討」

分科会IV アジア経済の諸相 会場：西2号館403教室

司会者： 佐藤幸人（アジア経済研究所）

報告者：

- 1山口昌樹（山形大学）「アジアの国際シンジケート・ローン市場—信用スプレッドのマイクロ実証分析—」
 2富崎美穂（東京大学大学院）「ケインズの成長理論の復活の可能性—韓国経済の経験をふまえて—」
 3門闌（東京大学大学院）「中国銀行業の組織構造：歴史的視点による分析」

分科会V 東南アジアの政治的安定 会場：西2号館506教室

司会者： 鳥居高（明治大学）

報告者：

- 1高藤英樹（日本医療科学大学）「マレーシアにおける政治的安定性と政党制—社会経済変動に対する「ヘゲモニー政党制」の適応性—」
 2頼俊輔（横浜国立大学大学院）「インドネシアにおける緊縮財政と米価支持政策の縮小」
 3川端隆史（外務省）「マレーシア政治における『イスラーム的』な正統性—ハラール・ハブ(halal hub)戦略を事例にした—考察—」

■ 共通論題 14時00分～17時00分 ■

共通論題I アジアのメディアの現状と可能性—市場と国家の間で

会場：西2号館501教室

メディアの発展状況、社会的な役割の変化、グローバル化との関連、今後の課題などにつき、それぞれの国・地域の事情を比較する。

司会兼討論者： 竹田いさみ（獨協大学）

報告者：

- 1高井潔司（北海道大学）……………中国
 2 内藤耕（東海大学）……………東南アジア
 3 黒瀬悦成（読売新聞社）……………南アジア
 4 池内恵（国際日本文化研究センター）……………西アジア

共通論題II 近隣諸国から見た中国の台頭：対中政策の変化と方向性

会場：西2号館502教室

近隣諸国が中国をどう捉え、どのような外交関係を構築しようとしているのかに焦点をあて、アジアの中での中国を浮かび上がらせる。各報告で、近隣諸国の対中認識・対中政策の変化と方向性を検討し、日中関係についてより広い視野から捉えることをも意図している。

司会兼討論者： 毛里和子（早稲田大学）

報告者：

- 1木宮正史（東京大学）……………朝鮮半島
 2佐藤考一（桜美林大学）……………東南アジア
 3伊豆山真理（防衛研究所）……………南アジア
 4河東哲夫（元在ウズベキスタン・タジキスタン大使）……………中央アジア

大会実行委員会からのお願い

1 宿泊施設

大会会場となっている学習院大学は新宿から約10分の場所にあるため、宿泊施設のご案内はしておりません。ご容赦ください。昼食は、大学構内の食堂や近隣の飲食店のご案内を、大会当日にお渡ししますので、そちらをご利用ください。

2 受付と各会場

大会の主会場、西2号館はJR目白駅から歩いて5分のところにあります。改札口（一個所のみ）を出てから、直ぐ右方向に進み、信号を渡ったところにある西門からキャンパスに入ってください。道なりに右手に進んで、100メートルほど行くと、正面やや左手に茶色い5階建てのビルがあります。そこが西2号館です。エレベーターかエスカレーターで5階まで上がって下さい。5階エレベーターホールに受付を用意致します。午前の自由論題はこの建物の5階と4階で行われます。午後の共通論題は5階のみで行われます。懇親会会場は大会会場を出てすぐ左手の輔仁会館食堂で行われます。受付の時間から懇親会の時間まで、主要な場所には案内係の学生を配置します。

3 要旨集

報告者のレジュメ（各1ページ）を1冊にまとめた大会要旨集を受付で配布します。

4 懇親会

懇親会は大会会場を出てすぐ左手の輔仁会館食堂で18時00分～20時00分に開催します。参加を希望する方は、参加費用の5000円を当日、受付でお支払いください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

5 託児所設置のお知らせ

小さいお子さんを連れて参加される会員のために、託児所を設置します。ご利用希望者は『託児所設置のお知らせ』をご覧いただき、5月18日までにFAXにて学会総務事務局までお申し込み下さい。

アジア政経学会2006年度東日本大会開催にあたって

東海大学アジア政経学会東日本大会
実行委員長 高橋祐三

本学会ホームページですすでにご案内申し上げましたように、今年度はアジア政経学会東日本大会を東海大学で開催することになりました。学会員として大会の開催に携わることができるのは身に余る光栄ではありますが、大きな責任も感じております。

さて、アメリカの「テロとの戦い」以後、アジアでもイスラーム勢力の活動が指摘されています。今後、アジアが地域的な結びつきを強める中で、東南アジアの宗教社会勢力の位相を、再確認する必要があるかと思われます。また近年、中国やインドなどアジアの大国が本格的な世界的台頭を見せているばかりでなく、東アジア共同体や上海協力機構など、アジア大陸全体を包含する地域再編の動きも目立っております。そこで、今年度は共通論題に「東南アジアにおけるイスラームの新展開」と「アジアにおける地域的枠組みの形成」の2つを設けました。

自由論題でも様々な論題と秀逸な報告が寄せられています。目覚ましい経済発展に伴う中国社会に対する政治的拘束力の低下や、経済活動における規制の緩和。1997年の経済危機から復興を見せている東南アジア諸国の経済システムの変化や南アジアの社会問題。さらには日米間で揺れ動く日本の安全保障の問題など、今のアジアを考える上で示唆に富む報告が出揃いました。

これらアジアの動向の最先端について議論する機会をご提供できるよう準備をしてきたつもりです。会員の皆様におかれましては各分野でご活躍され、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただければ幸甚でございます。宜しくお願い申し上げます。

なお、この度の東日本大会開催に関する郵送による通知が、諸般の事情により遅れてしまいました。大会実行委員長として学会員の皆様にお詫びを申し上げます。

■ 東海大学アジア政経学会2006年度東日本大会実行委員会

臼田雅之 (文学部)
内藤耕 (文学部)
野口和彦 (教養学部)
貴家勝宏 (教養学部)
高橋祐三 (教養学部・実行委員長)

連絡先： 東海大学教養学部国際学科
(〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117)
アジア政経学会東日本大会実行委員会
高橋祐三

アジア政経学会2006年度東日本大会プログラム

日 程：2006年5月27日 (土)
会 場：東海大学湘南キャンパス 8、10、14号館
主 催：東海大学アジア政経学会東日本大会実行委員会
受付開始：9時30分～(10号館入口)
自由論題：10時00分～12時15分(10号館各教室)
編集委員会：10時00分～15時00分(10号館教室)
理 事 会：12時30分～14時00分(8号館教室)
共通論題：14時00分～17時00分(8号館・10号館各教室)
懇 親 会：17時30分～19時30分(14号館カフェラウンジ)
*各会場の教室詳細は以下の個別会場説明をご参照ください。

■自由論題 10時00分～12時15分■

分科会I 中国政治 会場：10号館303教室

司会者： 唐亮（法政大学）

報告者：

- 1 石塚迅（早稲田大学）「中国・地方政府の政務公開」
- 2 益尾知佐子（日本学術振興会）「中国外交の転換点——国内における毛沢東外交の再検討 1979年～1981年」
- 3 崔梅花（一橋大学大学院）「現代中国における言論政策の特徴—『自由』と『規制』の葛藤のなか」

分科会II中国経済 会場：10号館209教室

司会者： 丸川知雄（東京大学）

報告者：

- 1 楊広平（一橋大学大学院）「中国の国有企業改革における組織再編税制をめぐる法律問題と今後の課題」
- 2 範雲涛（亜細亜大学）「WTO加盟五周年の中国市場における知的財産権紛争についての法務戦略研究」

分科会III 中国社会 会場：10号館208教室

司会者： 沢田ゆかり（東京外語大学）

報告者： 1 興津正信（大東文化大学大学院）「中国・海河流域における水質汚濁問題」

2 神山育美（一橋大学大学院）「現代上海にみる都市開発と理想的都市の形成——『上海人』をめぐる討論活動を事例に」

分科会IV 東南アジア経済 会場：10号館301教室

司会者： トラン・ヴァン・トゥ（早稲田大学）

報告者：

- 1 三嶋恒平（東北大学大学院）「タイオートバイ産業と裾野産業——サプライヤー・システムと能力構築」
- 2 新見道子（チュラロンコーン大学）「タイにおける低所得者層の組織化と社会階層についての研究」
- 3 小原江里香（東北大学大学院）「都市『インフォーマル・セクター』の就業メカニズム——ベトナムハノイ市の荷役の事例から」

分科会V 東南・南アジア政治社会 会場：10号館302教室

司会者： 山本信人（慶應義塾大学）

報告者：

- 1 和田一哉（一橋大学大学院）「乳幼児死亡率で見たジェンダーバイアスと女性の教育、労働参加——インド・センサスデータの実証分析」
- 2 福島浩治（横浜国立大学大学院）「フィリピン保健医療制度の変容——分権化政策の帰結」
- 3 近藤久洋（東京国際大学）「バングラデシュにおける開発主義国家構築——現状と問題」

分科会VI アジアの安全保障 会場：10号館204教室

司会者： 武田康裕（防衛大学）

報告者：

- 1 小田桐確（上智大学大学院）「冷戦の終結と日米安全保障体制の機能変容」
- 2 野口和彦（東海大学）「パワー・シフト理論と日米開戦——システム要因と戦争の因果分析」

■共通論題 14時00分～17時00分■

共通論題 I 東南アジアにおけるイスラームの新展開 会場：10号館303教室

2001年の米同時多発テロ以後、イスラーム社会の動向に注目が集まっている。東南アジアにおけるイスラーム主義運動、組織・ネットワーク、過激派などについて再検討する。

司会者： 金子芳樹（獨協大学）

討論者： 中村光男（千葉大学名誉教授）

報告者：

- 1 河野毅（政策研究大学院大学）……………インドネシア
- 2 塩崎悠輝（同志社大学大学院）……………マレーシア
- 3 川島緑（上智大学）……………フィリピン
- 4 黒田景子（鹿児島大学）……………タイ

共通論題II アジアにおける地域的枠組みの形成 会場：8号館401教室

近年、東アジア共同体、上海協力機構、6カ国協議など、国家を超えた新たな地域的枠組みがアジアで形成されつつある。それらを政治、経済、安全保障などの観点から横断的に論じる。

司会者： 天児慧（早稲田大学）

討論者： 竹中千春（明治学院大学）

報告者：

- 1 貴家勝宏（東海大学）……………国際的生産ネットワーク
- 2 泉川泰博（神戸女学院大学）……………東アジアにおけるハブ・スポーク型システムの流動化
- 3 勝間田弘（シンガポール防衛戦略研究所）…ASEAN

<大会実行委員会からのお願い>

1 出欠アンケート

出欠アンケートにご回答ください。5月20日（土）までに電子メールでご送信ください。

2 宿泊施設

大会会場となっている東海大学は新宿から最寄り駅まで約60分の場所にあり、利用する小田急電鉄沿線には中規模の都市が多くあるため、特に宿泊施設のご案内はしておりません。ご容赦ください。昼食は、大学構内に複数ある食堂や近隣の飲食店のご案内を、大会当日にお渡ししますので、そちらをご利用ください。

3 受付と各会場

北門から入って間もなくして右折した先にある10号館の入口に受付を用意致します。午前の自由論題はすべて10号館の2階と3階で行われます。午後の共通論題は10号館と、隣接する8号館が会場となっています。懇親会会場は少し離れた場所になりますので、受付で配布する地図で場所をご確認ください。受付の時間から懇親会の時間まで、主要な場所には案内係の学生を配置します。

4 要旨集とフルペーパー

報告者のレジュメ（各1ページ）を1冊にまとめた大会要旨集を受付で配布します。それぞれのフルペーパーは学会のホームページ上で閲覧できるように掲載する予定です。聴講する各部会を選ぶ際の参考にしてください。要旨集のPDFはこちら

5 懇親会

懇親会は自由論題・共通論題の会場とは違う14号館で、17時30分～19時30分に開催します。参加を希望する方は、参加費用の5000円を当日、受付でお支払いください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。